

## 2023 年度交換留学(派遣) 報告書 ③

|                             |                           |
|-----------------------------|---------------------------|
| 所属学科／研究科                    | 史学科                       |
| 留学先国                        | 韓国                        |
| 留学先協定校                      | 韓瑞大学校                     |
| 留学期間                        | 約 10 ヶ月                   |
| 留学時学年                       | 3 回生                      |
| 留学先での所属                     | 日本語学科                     |
| 渡航日／発着便                     | 2023 年 3 月 2 日 関空→仁川      |
| 帰国日／発着便                     | 2023 年 12 月 20 日 仁川→関空    |
| 留学先で取得した単位数合計               | 20 単位                     |
| 本学で認定された単位数合計<br>(※30 単位上限) | 20 単位                     |
| 海外留学助成金                     | 20 万円 (前期 10 万円＋後期 10 万円) |
| 検定試験合格者助成金                  | —                         |
| 備考                          | —                         |

### 留学成果レポート

#### ■なぜ、派遣先国・派遣先大学への留学を希望しましたか？

大学で韓国語を学び始め、学ぶことが楽しくなり自由に韓国語を使えるようになりたいと思い留学を希望しました。また、語学堂を利用することが出来る韓瑞大学校を希望しました。

#### ■派遣先大学で、どのようなことを学習・研究しましたか？

主に、韓国語について学習しました。  
初めは日本女性と東アジアの女性の違いについて研究する予定でした。  
しかし韓瑞大学校で古代韓国史と古代日本史の深い関係を勉強するにつれて興味をいだくようになり、帰国後の研究テーマにつなげることが出来るよう学習しました。

#### ■留学するにあたっての目標は何でしたか？ 目標は達成できましたか？

目標は 3 つありました。  
1 つ目は韓国語の習得。  
2 つ目は、日本と違う文化の中で生活し、新しい経験をする。  
3 つ目は国際的な交流をし、友人関係を広げる。目標は 3 つとも達成したと考えます。1 つ目の韓国語の習得はこれからも継続して行いたいと考えています。  
他の 2 つは日本文化とは違った生活を通じて、様々な体験をすることが出来ました。韓国人だけではなくモンゴル人や中国人等、多くの友人が出来ました。  
奈良大学の代表である交換留学生として、しっかり意識を持って自覚ある行動は出来たと思います。

#### ■派遣先国・大学で、どのような国際交流を行い、どのような活動をしましたか？

4 月には MT という韓国の大学生が行う親睦会に参加し韓国文化を経験しました。  
5 月には留学生でエバーランドに行き、他国の留学生との交流を深めました。  
また、留学生の韓国語スピーキング大会に参加したりしました。  
11 月には김장 (キムジャン) という韓国のキムチ作りに参加し、韓国人의아주머니 (おばさんたち) に韓国の文化を教えてもらいました。

### ■留学中、どんな困難や苦労がありましたか？またその困難をどう乗り越えましたか？

留学して韓国語の聞き取りや、会話がある程度できるようになるまではコミュニケーションを取ることが出来ず、友人を作ることが出来るのか授業をきちんと理解することが出来るのか不安でした。しかし、日本語が少しできる韓国人の友人と会話をしたり、アプリを使って会話の練習をしたり、子供向けの韓国メディアを視聴する等、聞き取りや会話の練習をたくさんすることで徐々にコミュニケーションを取り授業も理解することが出来るようになりました。

### ■留学前と比べて「学習面」で成長できたと思う点はなんですか？

留学前は韓国語の読み書き、自己紹介程度の韓国語力でしたが、留学後は通常の日常会話、ニュースや新聞の聞き取り・読み取りができるようになりました。また、読むスピードが速くなり留学終了前には車やバスの中から見える看板などを読むことが出来るようになりました。さらに、自己表現ができるようになり、簡単な語句を使用して感情や思考を話すことが出来るようになりました。これからは、ことわざや慣用句、難しい心情表現などを覚えてより深い感情表現等がマスター出来るように努力したいと考えています。

### ■留学前と比べて「人物面」で成長できたと思う点はなんですか？

人物面で成長したと思う点は自分の人生設計をより深く具体的に考え、実行するようになった点です。競争が激しい韓国で生活を行うことでこのままではダメだという意識が芽生え、自分の生活水準レベルを見直すようになりました。見直して、今の自分では一人で生きていく力がないということに気づきました。そこに気づくことが出来るようになり、これからさらに進む国際化社会で生き抜くための勉強を自ら行わなければならないという自覚が身につきました。自覚することで実行に移すことが出来るようになりました。

### ■今後、この留学経験をどう生かしていこうと考えていますか？

この留学を生かして日本と世界を結ぶ人になりたいと考えています。留学を経験して、日本という国に多くの人が興味を持っているということを実感しました。また、言語の壁の高さも実感しました。そんな中、日本語を教えた友人たちの国々の言語を学びたいと思うようになりました。そこで、日本語教師の免許を取り、日本に住む外国人、海外で日本語を学びたい人達に日本語教える日本と世界を結ぶ架け橋になりたいと思っています。日本に来た外国人や韓国人を助けることが出来る人になりたいです。

### ■留学は楽しかったですか？留学して良かったですか？留学を終えての感想を

留学して本当によかったと考えています。不安や心配なことも多くあり楽しいことばかりではありませんでしたが、コミュニケーションを取ることが出来るようになってからは、自分から話かけられることが増え積極的な交流が出来て、毎日が楽しかったです。留学に行って、少しですが世界を見ることが出来、様々な経験をする事が出来、学習面でも人物面でも大きく成長することが出来、留学して本当に良かったです。この経験を生かしてこれからも成長しつづけたと思います。一年間の献身的なサポート本当にありがとうございました。

## ■韓国及び派遣先大学の印象は？

日本の大学よりも校内が広く、生徒の数も多いので移動をするのが大変です。また、前期は他の学生よりも授業登録が遅いので受講できる講義が限定されます。そのため事前に確認しておくことをお勧めします。

## ■留学して一番困った・大変だったことは？

一番大変だったことは韓国語が出来るようになるまでの期間です。特に、寮では重要な事は放送する場合が多いので聞き取りが出来るようになるまでは録音したり、日本人留学生同士で情報交換をいました。また、トコジラミが発生した時に、一日二日寮に入れないこともあったのでその時はソウルなどへ行き、外泊しました。

## ■留学中の楽しかった・嬉しかったできごとは？

韓国語でコミュニケーションが取れるようになってきた時が一番嬉しく、コミュニケーションをとる楽しさを知りました。また「すごく上手になったね」と友人や先生に言われると、頑張って練習した甲斐、自分の成長を知ることを改めて出来たのであきらめないことが大切だと思います。

## ■留学先に持ってきて良かった・持ってくれば良かったと思ったものは？

### 【持ってきてよかったもの】

・粉末スープ、みそ汁、ふりかけ、レトルト食品などの保存がきく食料  
(理由)寮では自炊が出来ないため、電子レンジで食べられる物やお湯で作って食べられるものなどを持ってこないと、全て外食になるのでお金がかかります。

### 【持ってくればよかったもの】

・最初に渡韓した際に持っていく多めの現金  
(理由)渡韓してから外国人登録書が出来るまで(約2か月～3か月)は、韓国で利用出来るカードを作れません。最初に約20万円、持っていきましたが、寮費や布団代、MTに行くときのお金や学科ごとのジャケット等、学校にまとめて払うものは全て現金で払う必要があります。私はクレジットカードを使っていたが、留学当初はイベントや珍しいものが多く、クレジットカード使いすぎて止まってしまう、食べる事にも困りました。また、クレジットカードは税金の関係上、余分に支払うことになるので現金払いが最も安く済み、友人と食事する際にも非常に便利でした。  
その為韓国のカードが出来るまでの約3か月分を考えて、多めの現金を持っていくことをお勧めします。

## ■留学中のお金の管理はどうしていましたか？

私の場合は、韓国のカードが出来て以降、日本にある自分の銀行と韓国の銀行を母につないでもらい使用しました。留学中のお金の管理は自分でしていました。

## ■派遣先大学での生活環境はどうでしたか？

寮の部屋でムカデが出て驚きました。大学が郊外にあり都市に出かけるのが大変でした。しかし、ソウルは旅行でも行けるので、あまり行くことの無い郊外に住み、本当の韓国の雰囲気に触れることが出来て、非常に楽しく過ごせました。

## ■派遣先大学での課外活動はどんなものがありましたか？

留学生全員でエバーランドに行ったり、キムチをつける김장(キムジャン)等がありました。また、語学堂ではクラスごとにキンパを作ったり、各国の料理を作ったりしました。

### ■どのような国籍の留学生がいましたか？

中国・モンゴル・バングラデシュ・ロシア・ベトナム

### ■渡航前にすべきこと・やっておいたほうが良いことは？

韓国語の聞き取りの練習です。話せる事が一番良いのですが、聴くことが出来ると何をすべきか分るのでいいと思います。ハングルの読み書きは出来るようになってから留学する必要があると思います。

### ■渡航後にすべきこと・やっておいたほうが良いことは？

帰国後の計画、行く学年にもよりますが卒論の計画です。留学中は時間があるので、自分の進路や今後の計画をしっかり考えておくべきだと思います。帰国後も、韓国語の学習に集中し、韓国語や韓国の方言に触れ更なる語学力アップに努めてください。また、韓国語を使用して、外国人の友人とコミュニケーションをとるとよりいいと思います。

### ■今後の派遣留学生にむけてアドバイスを

留学中は、「あってるかな」と不安にならずにまずは韓国語を話してみてください。間違ってもいいので、聞いて真似して話してみてください。イントネーションや表現の仕方も真似をすることが大切だと思います。慣れない土地で不安が多く在ると思いますが、楽しんで生活を送ってほしいです。

## 留学体験記

私は、この留学を通じてもっとも自分が成長できることを、身をもって体験しました。初めは出来なかったことも諦めずに、少しずつ挑戦していけば気づけば出来るようになっていたことが多くありました。最初の頃は、相手が言っていることが分からず、友人も出来ず、不安と焦りの闘いでしたが、韓国の方々の優しさに触れ、一緒に韓国語を学ぶ友人に出会い、約一年間という短い期間に、自分の成長と世界のスケールの大きさを実感することが出来ました。この経験は、今の自分の自信と、挑戦する前向きな姿勢につながっていると思います。また、私は韓国料理や文化が好きで、日本にいと出会えない料理や様々な文化に多く触れることが出来た事もとても良い経験でした。雨の日にはチジミとマッコリを食べる人が多かったり、目上の人とお酒を飲むときは顔を横にして飲まなければならなかったり、日本にはない文化や伝統に触れることが出来ました。さらに、日本の国民性と韓国の国民性を比較したり、韓国語が多少わかってくると直訳したときの違和感を楽しんだり、この約一年間で五感すべてを使い学習したと思います。これからも、この経験をさらに生かして成長できるように日々努力していきたいです。